

# 環境視点の事業開発入門

～今求められる環境経営への理解と取り組み方～

講師：町田 聡 氏

(一社)環境教育普及推進フォーラム(eepf) 代表理事(イクゼクティブプロデューサー)

日本は2030年度において2013年度比46%～50%の温室効果ガスの削減を目指し、さらに2050年には全体として温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラルを目指すとして宣言しています。欧米、特に欧州においてはそれ以上のスピードで温室効果ガスの削減目標と規制が次々と決められ、すでに一部の法律は施行され、さらに生物多様性の観点からも2030年までに「損なわれた自然の30%を回復させる」などの目標が2022年に開催された生物多様性条約の第15回締結国会議(COP15:モントリオール)の枠組みとして採択されています。いずれも2030年までにあと6年、今の時点で猛烈な勢いで環境問題を改善し持続可能な社会への移行が急がれています。

このような流れは、条約や法規制のみならず、ESG投資に見られるように非財務の評価軸が企業にとって重要になるなど、企業活動における実質的な対応が求められる段階に入っています。

事業の内容によっては方向性の修正や転換を短期間で行う必要があり、単に、既存事業の見え方を変える程度ではすまない段階にまで来ています。また、Appleやマイクロソフトを含めた世界的大企業はすでにサステナブル経営に舵を切っており、その裾野である中小企業をも巻き込んだサプライチェーンでの対応が迫られています。

本講演では企業において環境問題への取り組み方をどのように考えたらよいか、世界動向も踏まえて、環境負荷を下げた事業開発はどうあるべきかをわかりやすく解説します。

## 【講師経歴】

2006まで 医学教育ロダクションの取締役、国立がんセンター、国立循環器病センター、国立遺伝学研究所、日本医師会などの他、多くの製薬企業や医科系大学の教育コンテンツの開発に従事

2009- アンビエントメディア設立 代表に就任 プロジェクションマッピング、デジタルサイネージ、3D/立体視、AR/VR/MR、メタバースなどのコンテンツ開発プロデューサーに従事、同時に2013- 株式会社シンク・デザインにて環境啓発施設の開発に従事 10件以上のごみ処理施設

設、上下水道施設などの見学コースの開発(四日市市クリーンセンター、桑名市リサイクルの森、など) 2023- 一般社団法人環境教育普及推進フォーラム代表理事に就任【役職】アンビエントメディア代表/一般社団法人環境教育普及推進フォーラム 代表理事

事/一般財団法人プロジェクションマッピング協会 顧問/超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム アドバイザー他、多くの企業にて顧問やアドバイザーに就任【著書】単著「3D技術が一番わかる(しくみ図解)」技術評論社ほか共著多数【論文】「デジタルコンテンツ用

共通プラットフォームの提案」情報処理学会研究報告「コンピュータと教育」No.067-010, 2002 「Web 3D技術を用いたインタラクティブ人体解剖図の開発」経済産業省コンテンツ制作基盤技術等開発事業平成12年成果集, 2000 「マルチメディア技術の卒後研修教材への応用」医療情報学会連合大会616-617, 1996

開催日時	2024年7月5日(金) 13:30~15:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。 ★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。
受講料	29,700円(税込) ※資料付 *メルマガ登録者 26,700円(税込) *アカデミック価格 22,000円(税込)	

\*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。  
★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をいただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。★【セミナー対象者】・環境経営に関心のある中小企業経営者、担当役員の方・サステナブル推進部門/GX部門/CSR部門などの環境関連部署の方・環境経営に資する人材を育成したい方・新規事業開発部門のテーマを探している方・社内でイノベーションを起こしたい方 ★【得られる知識】1. EUの先をいく環境視点の世界観が理解できます。2. SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)の考え方と進め方が理解できます。3. 「EUエコ設計規則」の概要と自社の事業開発への生かし方が理解できます。

## 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- 企業が今求められる環境問題への取り組み方
- 「環境革命」へのパラダイムシフトとバックカスティング
- SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)
- EUの先を行く理想の世界観 “Sustainable Planet”
- SXで生まれる新たな市場
- 企業に求められる各種指標やデータ
- SXを先導する世界の金融動向
- 企業でのSXの進め方

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	環境視点の事業開発入門(7/5)		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名(団体名) 住所〒	TEL: FAX: E-mail:	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法	銀行振込・その他	氏名	お支払予定
			2024年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order\_7053@cmcre.com) でお申し込みください。  
■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。  
■申込先: ㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL: 03-3293-7053  
■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号  
03-3291-5789

2024年7月5日開催

# 環境視点の事業開発入門

## ～今求められる環境への理解と取り組み方～

講師：町田 聡 氏

(一社)環境教育普及推進フォーラム(eepf) 代表理事(イクゼクティブ・プロフェッショナル)

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

### 【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。  
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

### 【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

### 【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](#)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。  
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。

万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。